

研究主題 国際教育、開発教育、国際理解教育、多文化共生教育

第43回高校生英語弁論・第23回高校生日本語弁論大会 東京都予選

令和5年8月に愛媛県松山市にて行われた全国国際教育研究協議会主催の第43回高校生英語弁論大会および第23回高校生日本語弁論大会の東京都予選を、令和5年6月3日（土）に、東京都立練馬工科高等学校けやきホールにて開催しました。熱気溢れる会場では英語弁論に21名、日本語弁論に4名の参加者が、それぞれの気持ちを込めた発表を行いました。発表後、審査員からは発表者の努力と熱意を称えるとともに、「今日一人一人が発表した内容は、皆、外の世界への働きかけを意識した素晴らしい内容だった。今日話した内容をスピーチの為だけに終わらせず、今後も忘れず、くじけず、ずっと心において行動してほしい」と講評をいただきました。

本予選で優勝（日本語弁論は準優勝も含む）した生徒は関東大会に進み、更に全国大会への出場を勝ち取りました。全国大会は、本年度は台風接近により急遽オンライン開催となり、当日ライブでのオンライン発表となりました。英語弁論大会では都立小石川中等教育学校の生徒が外務大臣賞を、日本語弁論大会では東海大附属高輪台高等学校の生徒が国際交流基金理事長賞を受賞しました。来年度も引き続き関係者各位の御指導、御協力をお願い申し上げます。

国際理及び国際協力に関する研究発表会

令和5年12月9日（土）に拓殖大学文京キャンパスにて「国際理解・国際協力に関する研究発表会」が行われました。参加した教員は国公私立とも、多くの教科の方がおり、それぞれの視点から意見を出し合い、各学校における国際理解や国際教育の充実を図るべく活動を展開しています。各参加校の発表後は、拓殖大学の学生からも発表があり、高校生や大学生等を交えた国際理解・国際協力のための交流会も実施しました。拓殖大学国際学部長、(株)国際開発ジャーナル社の企画担当、国際協力機構（JICA）東京センターの課長、立命館アジア太平洋大学サステナビリティ観光学部長、同アジア太平洋学部の教授に審査員をお願いし、本格的な研究発表会として運営できたことにより、各参加校のグローバルな視点での先進的活動や継続的な取組の発表が多く、非常に内容の濃い発表会になりました。

引き続き、本研究協議会の活動を通じて、国際理解・国際協力・開発教育について発信し、教育効果を向上させるように努めていきます。本研究協議会は発足以来、国際協力機構（JICA）や日本国際協力センター（JICE）などと連携を図りながら、国際協力、国際貢献を志すグローバル人材の育成に力を入れています。また、東京都教職員研修センターからの御指導及び御支援にも深く感謝申し上げます。今後とも本研究協議会に対して、御理解と御支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

外国につながる高校生のための進路ガイダンスと多文化交流会

外国につながる生徒へのさまざまな支援は、学校だけでなく、外国人支援の団体（国際交流センター、NGO・NPOなど）でも行われてきました。本研究協議会でも平成28（2016）年度以来、年2～3回、外国につながる高校生のための進路ガイダンスや多文化交流会を実施してきました。今年度は7月16日（日）に桜美林大学、12月10日（日）に東洋大学の多大なる御協力の下、対面で実施することができました。外国人への支援団体や法律の専門家など外部の団体（多文化共生教育ネットワーク東京TEAM-Net など）と企画の段階から連携し、東京都教育委員会人権教育研究奨励費グループとも連携しています。これまで外国につながるのがある中学生や高校生の進路選択や学校への定着に向けた取組を行うことができるのも、各校における御理解と御支援によるところが大きく、都立高校卒業生や大学、専門学校、企業、NGO、地域のNPOと、各方面の方々の御協力には深く感謝申し上げます。参加生徒は進学や就職の際に影響する在留資格の情報、上級学校の外国につながるのがある生徒を対象とする特別な入学枠等の情報、先輩の体験談などを得ることができました。一方、漢字が難しい、生徒の学習経験の実態や能力にあっている教材が少ない、日本の学校文化が分かりにくい、「日本人に合わせる」努力や姿勢を随時求められる、論理的な思考力や言語能力を育成する学習環境が乏しい、居場所を見つけにくい、母語話者同士で集まってしまうなどの課題も浮かび上がってきました。

<令和5年度連絡先>

団体名		東京都国際教育研究協議会
代表者	所属	東京都立農産高等学校
	職 氏名	校長 江森 忍
	連絡先	03-3602-2865
事務局	所属	東京都立六郷工科高等学校
	職 氏名	主幹教諭 竹山 哲司
	連絡先	03-3737-6565
団体ホームページ		URL http://jafie.jp/tokyo/